

飛翔 2020



令和2年度 第12号3月24日発行

大野高校通信

発行責任者 校長 中野達博

卒業式 3月2日(火)

水上町長様をはじめご来賓の皆様と保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業式を挙行いたしました。新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生は送辞代表生徒を除き参加できませんでしたが、32名の卒業生は3年間の思い出を胸に卒業証書を受け取り、それぞれの夢に向かって旅立ちました。地域の皆様のご支援に教職員一同心より感謝申し上げます。



【卒業式表彰生徒（3年間皆勤）】

大槻悠也、奥山日和子、上岡谷勇人、熊谷郁哉、坂久保淳、東菜々美、萬谷健、森外啓太、奥寺葵唯、長川昌樹、鈴木優斗、野田星翔、福島佑弥、萬谷和己



【答辞 紹介】 三本木虎也（前生徒会長） 抜粋



・・・そして、最高学年となり進路実現に向けた活動を本格的に始めようと思った矢先に、新型コロナウイルスが世界中に広がりました。通常ならば行事の頭に「最後の」とつくはずですが、私たちの場合は「例年と違った」や「異例の」などがつくものばかりでした。すべての行事や大会で制約が設けられたり、進路活動にも影響が出たりと今年度は特に苦難と我慢の連続でした。最後の節目だと思っていた高総体も中止となり、これまでの集大成を発揮する場が失われ、非常に悔しかったことを覚えています。しかし、高総体の代替大会や、先生方の計らいで実施していただいた運動部でのレクなど、高総体に代わる最後の舞台を用意していただき、我々の気持ちは救われました。我々のために様々な配慮をしていただき、本当に感謝しています。・・・この厳しい進路活動乗り越え、全員が進路決定できたのは、どんな時でも支え合える仲間がいたからです。また、丁寧に指導してくださった先生方や、いつも心の支えとなり背中を押してくれた家族の存在がなければ合格を勝ち取ることはできなかったと思います。だからこそ、各々の合格が決まり、皆で一緒に喜んだ時の高揚感は一生涯忘れることはないでしょう。これから私たちは、新たな道へと踏み出していきます。楽しく幸せなことも待っていますが、これまでよりもさらに困難な道となります。この三年間、大野高校で苦楽を共にしてきた仲間たちとの経験はかけがえのない宝物です。この経験を糧に、豊かな人生を送れるよう精進して参ります。在校生の皆さんには、私たちと同じように友人たちとの時間を大切にしてほしいと思います。そして、お互いに成長し合いながら大野高校がさらに発展していくことを切に願っています。最後になりますが、三年間ご指導してくださった先生方、どんな時でもそばで支えてくれた家族、友人、在校生の皆さん、多大なるご支援をいただきました地域の皆様、同窓生の皆様、大野高校を守る会の皆様、東京大野つばさ会の皆様、本当にありがとうございました。これからの大野高校の発展を心からお祈り申し上げ、答辞といたします。

3年間精勤・1年間皆勤表彰 3/1(月)



3年間精勤者
三本木虎也
中山夏妃
泥濘翔太
森澤ひより

北いわてコミュニティ計画策定

「調印式」3/9(火)

小規模多機能ホームくじひら



【2021年度 定期人事異動 転出者あいさつ】



校長 中野 達博 異動先 久慈高校

新型コロナで影響で活動が中止や制限される中、生徒たちは前向きに自分たちのできる活動に取り組み、進路実現や学習活動、部活動で成果を上げてくれました。これは本校の生徒たちのもつ素直さ、優しさ、直向きさによるものであり、この特長を育てていただいた地域の皆様、特に大野中学校に感謝申し上げます。また来年度の入学試験の合格者も26名となり、高校存続のための条件をクリアできました。洋野町をはじめ、地域の皆様のご支援に重ねて感謝申し上げます。本校は、来年度全学年1学級となり、教職員・事務職員とも人数がさらに減ります。しかし、生徒や地域の期待に応えるため、個々の職員にかかる負担は増加しますが、コース制や部活動を維持していきます。久慈地区全体で中学生の人数が減少しており、今後本校が存続していくかどうかは地域の皆様の本校に対する思いにかかっていると考えています。今後とも本校の教育活動に対し今まで以上のご理解ご協力をお願い申し上げます。転任の挨拶といたします。2年間ありがとうございました。



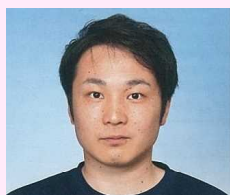
赤穂 直行（英語） 異動先 伊保内高校

平成26年度から7年間お世話になりました。担任として2回、また進路指導担当として卒業生を送ってきたことが思い出に残ります。その卒業生たちも大野をはじめ、久慈管内、岩手県内、そして県外で活躍しています。地域の方々、事業所の方々には感謝でいっぱい입니다。これからは大野高校の卒業生たちに地元をさらに盛り上げてもらいたいです。私もまた地域の学校で頑張りたいと思います。



佐々木 赳人（地歴公民） 異動先 盛岡第二高校

3年間、お世話になりました。先生方や地域の方々、生徒の皆様を支えられながら教員として勤め上げることができました。こちらの学校に赴任したのは、初任3年目を終えた頃でした。当初は未経験であった卓球部顧問を仰せつかりましたが、地域の方々が大野高生に掛ける期待と厚い支援を感じ、生徒をよりよい方向へ導く決意を新たにすることができました。まだまだ学ばなければならないことも多く、多大な迷惑を掛けたこともあるかと思ひます。しかし、皆様から教えていただいたことを胸に、岩手の教員として貢献していきたいと思ひます。今後の大野高校の発展をお祈り申し上げます。3年間ありがとうございました。



宮 洸平（保健体育） 異動先 岩手女子高校

大野高校の先生方や生徒、地域の方には大変お世話になりました。赴任する前の3月に当時の下町校長先生と一緒に、郵便局・北部産業・おおのキャンパスに挨拶させていただいたのが懐かしく思ひます。そんな地域に根ざした、地域に支えられている学校の良さを感じながら過ごさせて頂きました。私自身、4月から新しい挑戦が始まりますが、大野高校での経験も生かしていきながら成長していけたらなと思ひます。そして、行事や大会等で皆さんの成長した姿に会えることを楽しみに、これからも陰ながら応援しています。5年間ありがとうございました。



大久保 賢尚（保健体育） 異動先 東北学院榴ヶ岡高校

1年間、お世話になりました。体育や保健の授業以外でもサッカー部や生徒会など大野高校の生徒の皆さんと関わることができて本当に良かったと思ひます。短い期間で大野の魅力をあまり知ることができませんでしたが、生徒の姿をみると、とても温かい町のような気がしました。4月からは新しい環境で挑戦をすることにしました。不安もありますが、自分を高められるよう自分に厳しく、そして生徒と向き合うことを忘れずにチャレンジしたいと思ひます。短い間でしたがお世話になりました。



主事 西山 明樹（事務室） 異動先 岩手県教育委員会事務局教育企画室

今までの勤務歴のなかで最長となる5年間勤務させていただきました。初めて大野高校にきたとき、生徒の挨拶が素晴らしいと思ひました。年度が過ぎても変わらず、どの年度の子達もしっかりしていて毎日気持ちよく勤務することができました。是非、大野の伝統としてこれからも続けて欲しいと思ひます。5年間お世話になりました。



非常勤職員 三本木 優可子（事務室） ご退職

事務室で5年5ヶ月間お世話になりました。生徒のみなさんと直接関わる機会はありませんでしたが、廊下から聞こえてくる元気な声にパワーをもらいながら、毎日充実した日々を過ごすことができました。自分の母校ということもあり、後輩たちの活躍を近くで見ることができたことも大変嬉しく思ひます。ありがとうございました。